

着ぐるみの使用における注意事項

使用の際には、本書と併せて運搬用バッグに備え付けのマニュアルを参照すること。

1 着脱時

- ・ 発熱やその他体調不良がある人は、着用又は着ぐるみの誘導係をしないこと。
- ・ 感染症対策として、着脱の際、手指のアルコール除菌を行うこと。また、複数人での着ぐるみの使用は控えること。
- ・ 着脱の際、直接床に置くなどして着ぐるみを汚損しないように細心の注意をもって取り扱うこと。
- ・ 着ぐるみは、汗を吸いやすく容易に洗えない素材のため、直接肌が触れない服装（長袖、長ズボン、靴下を着用）を心がけること。
- ・ 土足で着用しないこと。
- ・ 関係者以外（特に子ども）の前で絶対に着脱しないこと。

2 活動時

- ・ 感染症対策として、着ぐるみと人との接触は避けること。（握手、タッチ、密集・密着しての記念撮影など）また、「3密」となるイベントでは着ぐるみは使用しないこと。
- ・ 着ぐるみを汚損しないように細心の注意をもって取り扱うこと。
- ・ 雨雪の下では原則として使用しないこと。なお、使用中に雨雪となった場合は、速やかに使用を中止すること。
- ・ 視界が悪いため、活動の際は、安全対策として必ず誘導係を付けること。また、小さい幼児等にぶつかったり、倒したりするおそれがあるので、急に振り向いたり、急に走り出すことは避け、転倒にも十分注意すること。なお、誘導係は、感染症対策として人が着ぐるみに触れないよう注意すること。
- ・ 食べ物や飲み物を持っている人が近くにいる時は、着ぐるみに付着しないように注意すること。また、化粧をしている人についても頬擦り等に注意すること。
- ・ 着ぐるみの靴部分が破損しないよう、足を上げて歩くこと。
- ・ 着ぐるみ内部に熱がこもり、長時間着用すると気分が悪くなることがあるので、適宜休憩や水分補給を行うなど十分な暑さ対策をとり、無理のない着用をすること。
（着用時間の目安として、夏場は20分以内、冬場は30分以内）
- ・ バッテリーによる稼動のため、バッテリー残量に注意し、早めの交換を行うこと。
- ・ 着ぐるみ着用時は、着ぐるみ内部から絶対に声を出さないこと。

3 使用後

- ・ 汚損箇所がないか確認し、使用前の状態にして返却すること。また、各部に異常がないか確認し、異常があった場合は直ちに管理者に申し出ること。
- ・ 風通しの良い場所で、着ぐるみについた汗を拭きとり十分乾燥させた後、次亜塩素酸水などを使って内部と外部を除菌・消臭し、返却すること。
- ・ 靴底の汚れを固く絞った濡れ雑巾等で拭き取ること。
- ・ 使用したバッテリーは、満充電（過充電にならないように注意すること。）してから返却すること。

4 その他

- 着ぐるみの借用者は、イベントの参加者等に対して、大会について啓発すること。
- 輸送や保管の際には、型くずれやシワにならないように丁寧にたたみ、運搬用バッグに収め、取扱いに十分留意すること。
- 返却時には、着ぐるみ本体及び付属品（炬火トーチ、バッテリー等）について確実に返却すること。